

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹中央防災公園・元気創造プラザの指定管理者との協働による円滑な管理運営①	個別事業掲載No	ス - 1①
-----	---------------------------------------	----------	--------

当初計画	【事業概要】 平成29年4月にオープンした「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」において、施設利用の気運を高めるとともに、オープン初年度のイベント等を中心とした施設利用について総合調整を行う。また、指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団等との協働により円滑な管理運営を実現するため、施設利用者ニーズ等調査の実施及び施設運営協議会を開催し、安全性、快適性、利便性の確保に向け、適宜、施設の改修等を行う。
	【事業量】 開館記念行事を4月第1週及び第2週の土、日曜日に開催 ・財団、関係団体、プラザ内各施設の関係各課等で構成される施設運営協議会を毎月開催 ・施設利用者ニーズ等調査の実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 月 施設利用者ニーズ等調査(適宜) 施設運営協議会の開催(毎月) → 施設の改修等(適宜) → 開館記念行事の開催(4月の第1週、第2週) ○ ○
	事業の成果(目標) ・開館記念行事の開催 ・施設運営協議会の開催(12回) ・施設利用者ニーズ等調査の完了

中間評価	上半期の実績・課題等 4月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)に開館記念事業を実施。(来館者数11,150人) 4月～8月の毎月、施設運営協議会を開催し、修繕箇所の洗い出しや、ふじみ全炉停止による全館休館の対応、駐車場減免、利用者からのご意見等を関係機関で共有している。 施設利用者のニーズ等については、意見箱の運用、施設利用報告書への記載、各受付に寄せられた内容の記録、教室・講座参加者へのアンケート等の実施により把握している。意見箱等で寄せられた要望等については、順次対応を行っている。
	事業評価審査会特記意見 政策会議評価・意見等 重点事業とする。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・開館記念行事の開催(4月の第1週、第2週) ・施設運営協議会の開催(年12回) ・施設利用者ニーズ等調査の実施 ・施設の改修等の実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 施設利用者ニーズ等調査(適宜) 施設運営協議会の開催(毎月) → 施設の改修等(適宜) → ネーミングライツ(「SUBARU総合スポーツセンター」) → 開館記念行事の開催 ○ ○ 自衛消防訓練 ○ ネーミングライツ(「日本無線 中央広場」) → 自衛消防訓練 ○
	事業の成果(実績) ・開館記念行事の開催(4月の第1週、第2週) ・施設運営協議会の開催(毎月1回×12月) ・施設利用者ニーズ等調査の実施(随時) ・施設の改修等の実施(随時) ・自衛消防訓練の企画・実施(年2回) ・ネーミングライツの導入(H29.4.1～「SUBARU総合スポーツセンター」 H30.1.1～「日本無線 中央広場」)
	事業の総括(主管課) 施設に関する総合調整を行うことにより、指定管理者である(公財)三鷹市スポーツと文化財団との協働による円滑な管理運営の実現を図った。また、施設運営協議会を毎月開催するとともに、施設利用者ニーズ等調査を実施することにより、施設のサイン増設や改修等を適宜行い、施設の安全性・快適性・利便性の向上を図った。さらに、ネーミングライツを導入することによって、施設の安定的な運営の確保と市民サービスの充実を図った。
	事業評価審査会評価・意見等 予算執行 29年度当初 29年度実績 予算額 74,104千円 74,104千円 決算額 67,066千円 執行率(%) 90.5%
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)

平成29年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹中央防災公園・元気創造プラザの指定管理者との協働による円滑な管理運営②（生涯学習センター）	個別事業掲載No	スー1②
-----	---	----------	------

当初計画	【事業概要】 社会教育を含む生涯学習の拠点として生涯学習センターを開設し、指定管理者である（公財）三鷹市スポーツと文化財団と連携を図りながら、市民との協働による市民大学総合コースなど幅広い世代の多様なニーズに応える魅力ある学習機会を提供する。また生涯学習センターの円滑な運営を図るため利用者懇談会を設置するとともに、自主学習グループ活動への保育の支援や地域人財の育成に取り組み、学びと活動の循環を図る。
	【事業量】 ・学習機会の提供等指定管理業務の検証 ・利用者懇談会の設置及び開催（2回） ・自主学習グループ保育支援及び地域人財育成
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 月 魅力ある学習機会の提供 ○利用者懇談会 ○利用者懇談会 自主学習グループ保育支援及び地域人財育成
	事業の成果（目標） ・生涯学習センターでの市民大学総合コース等の魅力ある学習機会の着実な運営 ・施設の円滑な運営を図るための利用者懇談会の設置と開催（年2回） ・自主グループ活動への保育支援や地域人財の育成の仕組みづくり

中間評価	【実績】社会教育を含む生涯学習の拠点として生涯学習センターを開設した。指定管理者と連携を図りつつ、市民との協働による市民大学総合コース（全5コース各30人）など、魅力ある学習機会の提供を開始した。また自主学習グループ活動への支援や地域人財の育成に取り組みを進めている。 【課題】利用者懇談会の設置と開催（平成29年10月、平成30年1月に予定）及び自主グループ活動への保育支援	
	事業評価審査会特記意見 初年度の実績等を踏まえ、（公財）三鷹市スポーツと文化財団と協働して一層の市民満足度向上に資する取組みについて検討することが望ましい。	政策会議評価・意見等 重点事業とする。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする	

事後評価	実績 ・市民大学総合コースなど魅力ある学習機会を提供し、指定管理業務を検証した。 ・利用者懇談会を設置し、2回開催した。（平成29年10月、平成30年2月） ・自主学習グループ保育支援事業を実施し、地域人財を育成した。
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 月 魅力ある学習機会の提供 ○利用者懇談会 ○利用者懇談会 自主学習グループ保育支援及び地域人財育成
	事業の成果（実績） ・生涯学習センターでの市民大学総合コース等の魅力ある学習機会が提供できるよう、着実に運営した。 ・施設の円滑な運営を図るため利用者懇談会を設置し、2回開催した。（平成29年10月、平成30年1月） ・自主グループ活動への保育支援事業を実施し、地域人財を育成する仕組みづくりを行った。
	事業の総括（主管課） 【実績】社会教育を含む生涯学習の拠点として、生涯学習センターを開設し、指定管理者である（公財）三鷹市スポーツと文化財団と連携し、魅力ある学習機会の提供を開始した。また、自主学習グループへ活動支援や保育支援を行い、地域人財の育成の取組を進めた。 利用者満足度の一層の向上を図るため、利用者懇談会を設置し、意見収集に努めるとともに、利用者アンケートを参考に、案内表示の追加設置、表示の見直し等を行い、施設の改善を行った。 【課題】利用者懇談会や利用者アンケート結果の事業反映に努め、効率性や経済性の観点からも、市民満足度の一層の向上に向けた取組を図る。
	事業評価審査会評価・意見等 予算執行 29年度当初 29年度実績 予算額 54,160千円 56,460千円 決算額 48,781千円 執行率(%) 86.4%
主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹中央防災公園・元気創造プラザの指定管理者との協働による円滑な管理運営③（SUBARU総合スポーツセンター）	個別事業掲載No	ス — 1③
-----	---	----------	--------

当初計画	【事業概要】 指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団（以下「スポーツと文化財団」という。）を中心に民間事業者や関係団体等と連携して、SUBARU総合スポーツセンターの管理運営、各種イベントを行うとともに、利用者懇談会を立ち上げ、市民ニーズを把握する。また、同スポーツセンター内トレーニング室に設置される健康・体力に係る相談窓口において、個人の健康・体力状態の把握とそれに応じた運動プログラム等を提供するとともに、日々の健康や運動履歴の情報をなどを管理する健康・体力相談システムを活用し、スポーツを取り入れた健康づくりを推進する。
	【事業量】 SUBARU総合スポーツセンターの円滑な管理運営を行うとともに、市民の多様なニーズに応じた事業等を展開する。また、健康・体力相談支援システム等を利用した健康づくり支援の取り組みを行う。利用者懇談会の開催（2回）。
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ← SUBARU総合スポーツセンターの管理運営 ○利用者懇談会 健康・体力相談事業の開始（7月） →
事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・ SUBARU総合スポーツセンターの円滑な運営の確立 ・ 利用者懇談会の開催及び多様な市民ニーズの把握（年2回） ・ 健康・体力相談の開始（目標稼働率 80%）

中間評価	上半期の実績・課題等 4月1日SUBARU総合スポーツセンター（以下「センター」という。）のオープン。スポーツと文化財団及びスポーツ事業者と連携した管理運営及びイベントの実施（4月1日、2日、8日、9日三鷹中央防災公園・元気創造プラザ開館記念イベント）。7月10日健康・体力相談事業（健康・体力相談システムを活用した継続的な健康づくりサポート事業）のスタート。7月三鷹市市民体育施設利用者懇談会設置要綱の制定。センターにおける安全・安心で安定した管理と、市民目線に基づく運営、及び市民ニーズを踏まえた各種プログラムの継続的な実施のために、管理運営面・事業企画面に係る様々な市民の意見を共有し、それへの対応について両者で会話する機会を高頻度で設ける。また、三鷹市市民体育施設利用者懇談会（以下「懇談会」という。）を開催し、利用者の意見を吸い上げ、継続的な改善の取り組みを進める。			
	事業評価審査会 特記意見	政策会議 評価・意見等	重点事業とする。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1

事後評価	実績 スポーツと文化財団、民間事業者や関係団体等と連携して、「フラッグツアー」や「スポーツフェスティバル」などイベントを開催するとともに、SUBARU総合スポーツセンターの円滑かつ安定した管理運営を行った。また、同スポーツセンターにおいて、「健康・体力相談事業」を平成29年7月から開始した。三鷹市市民体育施設利用者懇談会を設置し、平成30年3月に開催した。			
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ← SUBARU総合スポーツセンターの管理運営 健康・体力相談事業の開始（7月） ○利用者懇談会 →			
	事業の成果（実績） SUBARU総合スポーツセンターについては、スポーツと文化財団を指定管理者とし、市民サービスの拡充を図るとともに、効率的な施設運営を図った。また、SUBARU総合スポーツセンターを含む市民体育施設に関する利用者懇談会を平成30年3月に開催した。また、健康・体力相談事業については、システムを活用した健康・体力相談事業を7月に開始した（稼働率は82.0%、利用登録者数は237人、利用件数は310件）。			
	事業の総括（主管課） SUBARU総合スポーツセンターについては、スポーツと文化財団を指定管理者とし、民間事業者や関係団体等と連携し、各種スポーツ教室の開催など市民サービスの拡充を図るとともに、ネーミングライツ、市の組織改正及び職員定数の見直しなど効率的な管理運営を図った。また、スポーツと文化財団と連携し利用者からの声を踏まえて施設面、運用面における改善を図るとともに、利用者懇談会を開催するなど、市民との協働の運営を図った。健康・体力相談事業については、市はシステム環境を整備し、スポーツと文化財団を中心に事業を実施する中で、市民の健康増進が図られている。SUBARU総合スポーツセンターの利用者数は387,553人で、平成28年度第一、第二体育館（和洋弓場を除く。）及び相撲場の利用者数139,943人に比べ約2.8倍に増加し、多くの市民の皆様から高い評価を得ている。			
	事業評価審査会 評価・意見等	予算執行	29年度当初	29年度実績
		予算額	295,517千円	295,613千円
		決算額		253,793千円
		執行率（%）		85.9%
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹市立太宰治文学館（仮称）及び三鷹市立吉村昭書斎（仮称）の整備に向けた取り組み	個別事業掲載No	ス — 2
-----	--	----------	-------

当初計画	【事業概要】 太宰治、吉村昭など、三鷹市及び都立井の頭恩賜公園にゆかりの深い文化人を顕彰し、「文化の薫り高い三鷹」のまちづくりを推進するため、同公園内に、その恵まれた環境との調和を保ちながら、両氏の遺品や資料等を展示する「三鷹市立太宰治文学館（仮称）」及び「三鷹市立吉村昭書斎（仮称）」を整備する。平成29年度は基本プランを策定するとともに、工事に向けた基本設計、実施設計を行う。また、企画部企画経営課と連携し寄付金について検討していく。
	【事業量】 ・基本プラン策定 ・基本設計、実施設計の実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 基本プランの策定 → 基本設計・実施設計 →
事業の成果（目標）	・基本プランの策定 ・基本設計、実施設計の完了

中間評価	上半期の実績・課題等 施設の整備に向け、井の頭恩賜公園の管理者である東京都と調整を図るとともに、検討会議の委員やご遺族等と協議を重ね、整備基本プラン（案）を作成した。整備基本プラン（案）については、7月の検討会議と8月の文教委員会で説明を行った後、8月20日から9月9日までパブリックコメントを実施した。その後、9月末に『井の頭恩賜公園内に建設する「井の頭文学施設（仮称）」に関する整備基本プラン』を策定予定。下半期は、整備基本プランを踏まえ、基本設計・実施設計を行うとともに、並行して文学施設としての展示設計も進める。また、企画部企画経営課と連携し、建設に向けた寄付や開館前からのPRに繋がる返礼等について検討する。
	事業評価審査会特記意見 政策会議評価・意見等 重点事業とする。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 両施設を都立井の頭恩賜公園内に建設する「整備基本プラン（案）」及び「整備基本プラン（修正案）」をまとめ、パブリックコメントを2回実施した。その後、設置場所及び平成31年度の開館を想定したスケジュールを見直し、「整備基本プラン（案）」及び「整備基本プラン（修正案）」に代えて、『「太宰治記念文学館（仮称）」及び「吉村昭書斎（仮称）」の整備に向けた基本的な考え方』を3月末にとりまとめた。
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 整備基本プラン(案)の作成 → 整備基本プラン(修正案)の作成 → 基本的な考え方の作成 → パブリックコメント (8/20~9/9) パブリックコメント (12/15~1/4)
	事業の成果（実績） 両施設は、都立井の頭恩賜公園内に設置することとしてきたが、三鷹市議会からの「慎重に進めるべき」との意見や、2回のパブリックコメントにおいて、設置場所について候補地以外で整備すべきとの意見も多いこと、平成30年度予算編成の中で明らかになった国による地方消費税の清算基準の見直し及びふるさと納税によって一定の市税の減収が見込まれること、修正案で示した場所については基盤整備のために経費増が見込まれることなどの状況を総合的に判断し、都立井の頭恩賜公園以外の場所に設置することとした。また、平成31年度の開館を想定したスケジュールを見直し、今後の整備に向けて検討を進めることとする。
	事業の総括（主管課） 両施設については、これまでの検討結果を活かしつつ、今後実施する特別展の開催など、顕彰事業のあり方や整備に向けた検討を継続して行う。また、施設整備の候補地については、「市有地」「市の既存施設の活用」や「市が今後整備する施設との複合化」など、今後、多様な考え方から多角的に検討する。
	事業評価審査会評価・意見等 予算執行 29年度当初 29年度実績 予算額 0千円 30,377千円 決算額 18,532千円 執行率(%) 61.0%
主管課評価 3 事業評価審査会評価 3 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック等の気運醸成とボランティア人財の育成・支援	個別事業掲載No	ス - 3
-----	---	----------	-------

当初計画	【事業概要】 「“2020年”に向けた三鷹市の基本方針」に基づき、同大会成功に向けた気運醸成を図るため、既存事業との調整をしながら各種補助金等を活用し事業を実施する。馬術競技に関連した事業、オリンピックによるバレーボール教室、ボッチャ出前教室、歌舞伎体操、フラッグツアール及び既存事業を活用した事業を開催する。また、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と連携して、スポーツボランティア養成講座を開催するとともに、その運営組織構築に向けた調査研究を行う。 【事業量】 フラッグツアー2日間、歌舞伎体操3日間、馬術関連事業6日間、バレー教室6日間、ボッチャ教室6日間等
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○フラッグツアー ○歌舞伎体操 ○既存：スポーツフェスティバル ○既存：市民駅伝大会 ○馬術関連：三鷹愛馬の日① ○馬術関連：三鷹愛馬の日② オリンピックによるバレーボール教室（6月～11月） ボッチャ出前教室（5月～3月） 乗馬教室（6月～3月） ← スポーツボランティアに関する養成講座、ワークショップ、実践活動を通じた調査研究の実施（年間10回） →
	事業の成果（目標） 各事業の目標参加者数2,000人（内訳：フラッグツアー1,400人、歌舞伎体操120人、馬術関連事業200人、バレー教室60人、ボッチャ教室120人、ボランティア養成事業100人） ※スポーツフェスティバル、駅伝大会は含まず

中間評価	上半期の実績・課題等 フラッグツアー（4/29 600人、5/5 800人）、歌舞伎体操（5/16、17、19 各50人）、スポーツボランティア養成事業（講習会等5/7、7/8 各10人）、ボッチャ出前教室（6/7、14、7/14、8/15 延べ約200人）、バレーボール教室（6/14、7/26、29 延べ約100人）、馬術関連事業（7/11 約100人、7/15日27人）。気運醸成への継続的な取組み、ボランティア人財の育成と仕組みづくりが課題である。
	事業評価審査会特記意見 ボランティア・ポイント制度の検討にあつたては、スポーツ分野におけるモデル的な実施となるよう制度設計に留意することが望ましい。 政策会議評価・意見等 重点事業とする。 ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピックの聖火リレー実施などに向け、体育協会や地域のスポーツ団体、市立学校長や市内の高校・大学等と準備組織の検討を進め、地域が一体となってボランティア人財の育成に取り組む体制を作ること。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 フラッグツアー（2日間 1400人）、歌舞伎体操（3日間 150人）、馬術関連事業（7日間 約240人）、バレーボール教室（6日間 延べ192人、幼児向け 1日間 23人）、ボッチャ出前教室（6日間 延べ259人） スポーツボランティア育成事業（講習会等4日間 各10人）、スポーツパフォーマンステスト（1日間 218人）、プロから教わる走りっこ教室（1日間 50人）、タグラグビー教室（府中調布三鷹ラグビーフェスティバル、1日間 39人）
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○フラッグツアー ○タグラグビー教室 ○既存：スポーツフェスティバル ○歌舞伎体操 ○既存：市民駅伝大会 ○馬術関連：三鷹愛馬の日① ○馬術関連：三鷹愛馬の日② 乗馬教室（7月～1月） ← オリンピックによるバレーボール教室（6月～11月） → ボッチャ出前教室（6月～10月） ← スポーツボランティアに関する養成講座、ワークショップ、実践活動を通じた調査研究の実施 →
	事業の成果（実績） 教室等事業への参加者数については、約2,600人となり目標を上回った。また、スポーツボランティアの育成については、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と連携して、講習会など座学とインターン（市及び東京都主催事業）の実施により、資質の向上、機会を提供することができた。 事業の総括（主管課） 東京2020大会等の気運醸成事業を実施し、子どもから大人まで約2,600人（ボランティア養成講座等への参加50人を含む。）が参加した。東京2020大会気運醸成事業では、フラッグツアーの開催のほか、近隣会場で開催される近代五種に含まれる馬術、障がい者スポーツのボッチャ、さらに卓球、バレーボールなどを中心に実施した。また、ラグビーワールドカップ2019関連では、調布市、府中市と共催で「ラグビーフェスティバル」の開催、みたかスポーツフェスティバルでのラグビー体験など気運醸成を図った。スポーツボランティア人財の育成については、スポーツと文化財団と連携しボランティア講座を開催し、受講生はボランティアとしても活躍した。また、学識者とボランティアネットワークに関する研究を進めた。 平成30年度以降は、気運醸成事業を積極的に推進するとともに、ボランティア人財の育成、活躍場の拡充などに取り組む。
事業評価審査会評価・意見等	予算執行 29年度当初 29年度実績 予算額 7,400千円 7,537千円 決算額 7,469千円 執行率(%) 99.1%
主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		生涯学習の総合的な推進及び学びと活動の循環の創出											個別事業 掲載No	ス — 4															
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 市民の社会教育を含む生涯学習の振興と施策の総合的な推進を図るため、市長の附属機関として生涯学習審議会を設置する。同審議会の委員は、社会教育委員を兼務することとし、市長の諮問に応じて調査審議等を行う。また生涯学習プラン2022（第一次改定）に基づき、多彩な学習プログラムの提供と「学びと活動の循環」の創出に向けた、全市的な生涯学習事業の推進を図るため、生涯学習プラン推進会議を設置し、生涯学習審議会等の意見又は要望について検討するとともに、関係所管部署の一層の連携を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習審議会の設置と開催 生涯学習プラン推進会議の設置と開催 																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																
	事業の成果（目標）	<p>○生涯学習審議会</p> <p>○生涯学習プラン推進会議</p> <p>○生涯学習プラン推進会議</p> <p>○生涯学習プラン推進会議</p>																											
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>【実績】市民の社会教育を含む生涯学習の振興と施策の総合的な推進を図るため、市長の附属機関として生涯学習審議会を設置し、第1回審議会（6月20日）を開催した。また生涯学習に関する関係所管部署の一層の連携を図り、全市的な生涯学習事業の推進を図るため、生涯学習プラン推進会議（庁内会議）を設置し、生涯学習施策を推進する立場から同メンバーが第1回審議会に参加した。</p> <p>【課題】生涯学習審議会と生涯学習プラン推進会議との円滑な連携体制の構築</p>																											
	事業評価審査会特記意見												政策会議 評価・意見等	重点事業とする。															
	主管課評価	1	事業評価審査会評価 1											1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする															
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習審議会（社会教育委員会） 3回実施（6/20、11/7、1/30） 生涯学習プラン推進会議 2回実施（5/15、10/16） 市民聴講生事業の申込窓口をネットワーク大学に開設 																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																
	事業の成果（実績）	<p>6月に生涯学習審議会を設置し、定例会を3回開催した。平成28年度に全庁で実施した生涯学習関係事業の取組状況を委員に示し、市の生涯学習の現状を踏まえたうえで、任期満了時に市長や教育委員会に提出する「三鷹市生涯学習審議会・三鷹市社会教育委員の意見」の内容について検討した。また生涯学習プラン推進会議を設置し、会議を2回実施した。市民聴講生事業については、新たに杏林大学を加え三鷹ネットワーク大学で広報及び申し込み受付を行った。</p>																											
	事業の総括（主管課）	<p>新たに社会教育委員を兼務する生涯学習審議会を設置し、定例会を3回開催した。また、全市的な生涯学習プラン推進会議（庁内会議）を設置し、メンバーが生涯学習審議会に参加することで効果的な連携を図った。</p> <p>市民聴講生事業については新たにネットワーク大学にて申込可能となったため、次年度以降、広報等を充実させ、更なる受講者の増加を図る。</p>																											
	事業評価審査会評価・意見等												予算執行	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">29年度当初</th> <th colspan="2">29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>2,470千円</td> <td>2,470千円</td> <td>2,470千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>1,072千円</td> <td>1,072千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td></td> <td></td> <td>43.4%</td> </tr> </tbody> </table>	29年度当初		29年度実績		予算額	2,470千円	2,470千円	2,470千円	決算額		1,072千円	1,072千円	執行率（%）		
29年度当初		29年度実績																											
予算額	2,470千円	2,470千円	2,470千円																										
決算額		1,072千円	1,072千円																										
執行率（%）			43.4%																										
主管課評価	1	事業評価審査会評価 1											S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		スポーツフェスティバル・市民駅伝大会の運営に関する新たな展開										個別事業掲載No	ス — 5		
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 スポーツフェスティバル・市民駅伝大会の二大スポーツイベントについて、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの開設に伴い、同施設の指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団（以下「スポーツと文化財団」という。）及びスポーツ事業者との協働により、新たな運営組織によるさらに充実した体験参加型事業を実施する。また、東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた関連事業も同時開催し、気運の醸成を図る。イベント当日には、同施設内の他課と連携・協働し多角的な事業展開を図る。</p> <p>【事業量】 スポーツと文化財団及びスポーツ事業者を含む新たな運営組織により、スポーツフェスティバル・市民駅伝大会を実施する。</p>													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	○スポーツフェスティバル ○市民駅伝大会	
	事業の成果（目標）	新たな運営組織及び三鷹中央防災公園・元気創造プラザ内の他課との連携・協働により、三鷹中央防災公園・元気創造プラザを有効活用して、スポーツフェスティバル・市民駅伝大会を実施し、市民スポーツを普及・促進する。（目標参加者数：スポフェス18,000人、駅伝：18,000人）													
中間評価	上半期の実績・課題等	スポーツフェスティバル及び市民駅伝大会の二大スポーツイベントについて、スポーツと文化財団も主催者の一員となり、市内スポーツ団体及びスポーツ事業者と協働して実施に向けた内容の検討を進めている。スポーツフェスティバルについては、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ及びSUBARU総合スポーツセンターを会場とし、同施設内の健康推進課が同日開催する「2017みたかケンコウデスカ?デー」とも広報等について連携する。市民駅伝大会については、スタート・ゴール等同施設を会場とする。複合施設の魅力をより効率的・効果的に市民へ還元するため、財団等との連携をより進めていく。													
	事業評価審査会特記意見											政策会議 評価・意見等			
	主管課評価	2	事業評価審査会評価		2	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする									
事後評価	実績	スポーツフェスティバル・市民駅伝大会については、スポーツと文化財団とともに主催し、事業のプログラムに関して、関係団体及び総合スポーツセンターを管理運営しているスポーツ事業者とも協働で実施した。													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	○スポーツフェスティバル ○市民駅伝大会	
	事業の成果（実績）	スポーツフェスティバル・市民駅伝大会については、スポーツと文化財団を新たに主催者に加え、三鷹市体育協会、三鷹市スポーツ推進委員協議会及びスポーツ関係等各団体と協働してプログラムの企画、運営を行った。また、健康福祉部とも連携して事業に取り組んだ。 （参加者数：スポーツフェスティバル約20,000人、市民駅伝大会約20,000人（参加チーム数 191チーム））													
	事業の総括（主管課）	約20,000人が参加したスポーツフェスティバルについては、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの一会場で開催することで、会場全体で一体感のあるイベントとなった。ラグビーやシッティングバレーボール体験など新たに実施することで、ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会の気運醸成を図るとともに、スポーツと文化財団との共催によるスペシャルゲストを迎えたスポーツ教室を開催し好評を得た。また、健康推進課が所管する「2017みたかケンコウデスカ?デー」と同時開催することで、市民にスポーツと健康の関係をより深く理解してもらう機会となった。 約20,000人が参加した市民駅伝大会についても、三鷹中央防災公園・元気創造プラザを会場とし、「走りっこ教室」を同時開催とすることで、子どもから大人まで「走る」をキーワードに多世代による参加の機会となり、スポーツと文化財団、体育協会などのボランティアとの協働による一体感のある事業となった。													
	事業評価審査会評価・意見等											予算執行	29年度当初 29年度実績		
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										
										予算額	13,232千円				
										決算額	13,195千円				
										執行率(%)	99.7%				

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	大沢総合グラウンド夜間照明設備等の整備と屋外スポーツ活動の支援	個別事業掲載No	ス - 6
-----	---------------------------------	----------	-------

当初計画	【事業概要】 予てから懸案課題となっていた屋外スポーツ施設の拡充に加え、調節池拡大工事による大沢野川グラウンドの一時閉鎖をふまえ、大沢総合グラウンド内の野球場（1面）、サッカー場等に夜間照明設備を整備するとともに、フットサル等多目的に利用可能なスポーツ広場を新設する。また、既存施設の有効活用による大沢野川グラウンドの代替施設の確保に取り組むほか、同施設の使用に代えて民間施設等を利用した団体に対する助成を行う。																																															
	【事業量】 大沢総合グラウンドにおける夜間照明設備及び多目的スポーツ広場の整備、並びに大沢野川グラウンドの代替施設の確保及び代替施設利用助成の実施。																																															
	スケジュール <table border="1"> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="2">入札・仮契約</td> <td colspan="2">本契約</td> <td colspan="2">工事</td> <td colspan="2">条例改正</td> <td colspan="4">○利用開始</td> </tr> <tr> <td colspan="6">←</td> <td colspan="6">→</td> </tr> <tr> <td colspan="6">←</td> <td colspan="6">→</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	入札・仮契約		本契約		工事		条例改正		○利用開始				←						→						←						→				
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																					
入札・仮契約		本契約		工事		条例改正		○利用開始																																								
←						→																																										
←						→																																										
事業の成果（目標）	夜間照明設備及び多目的スポーツ広場を整備し平成30年1月利用開始。現在閉鎖中である大沢野川グラウンド代替施設の確保と助成事業の実施。																																															

中間評価	上半期の実績・課題等 大沢総合グラウンド夜間照明等の整備については、6月22日に施工業者と契約を行い、8月17日から工事を開始した。工事開始にあたっては、8月9日に近隣住民を対象とした工事説明会を行った。また、大沢野川グラウンドの代替施設の確保等については、市内の屋外スポーツ施設の有効活用の可能性について検討したほか、市民のスポーツ活動の継続を図るため、大沢野川グラウンドの代替施設の使用料に対する補助制度を8月に新設した。さらに、近隣の事業所内のスポーツ施設の市民開放について、継続して協議を進めている。
	事業評価審査会特記意見 政策会議 評価・意見等
	主管課評価 2 事業評価審査会評価 2 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 大沢総合グラウンドに多目的スポーツ広場を新設し、野球場・サッカー兼ラグビー場・テニスコート・多目的スポーツ広場に夜間照明設備を整備し、1月から開放を開始した。また、大沢野川グラウンド調節池規模拡大工事に伴い、代替施設使用料に対する補助制度を整備し、8月から運用を開始した。																																																
	スケジュール <table border="1"> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">○契約</td> <td colspan="2">○条例改正</td> <td colspan="2">○補助事業開始</td> <td colspan="4">○利用開始</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">←</td> <td colspan="2">→</td> <td colspan="2">←</td> <td colspan="4">→</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">←</td> <td colspan="2">→</td> <td colspan="2">←</td> <td colspan="4">→</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			○契約		○条例改正		○補助事業開始		○利用開始						←		→		←		→						←		→		←		→			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																					
			○契約		○条例改正		○補助事業開始		○利用開始																																								
			←		→		←		→																																								
		←		→		←		→																																									
事業の成果（実績） 大沢総合グラウンドに、新たにフットサル、軽運動などの様々なスポーツを行える多目的スポーツ広場を設置するとともに、同施設を含め各施設に夜間照明設備を整備し、スポーツ活動の機会を拡充した（多目的スポーツ広場の利用率は27.8%、夜間照明を設置した施設の夜間利用率は、野球場5.9%、サッカー兼ラグビー場79.2%、多目的スポーツ広場26.7%、テニスコート26.9%）。また、代替施設の使用料を助成し、活動支援を行った（利用件数は28件）。																																																	
事業の総括（主管課） 大沢総合グラウンドに多目的スポーツ広場の新設と夜間照明設備の整備を予定どおり実施することにより、市民の多様なスポーツ活動の機会を拡充することができた。整備にあたっては、東京都の「スポーツ施設整備費補助金」を積極的に活用した。また、これらの整備により、大沢野川グラウンドの一時閉鎖については代替施設としての機能を一定程度確保するとともに、市内外の民間施設等を利用した団体への助成制度を設けることなどで、市民の理解を得ることができた。平成30年度以降は、さらなる利用率の向上に向けPRなど積極的な取り組みを図る。																																																	
事業評価審査会評価・意見等 <table border="1"> <tr> <th rowspan="4">予算執行</th> <th colspan="2">29年度当初</th> <th colspan="2">29年度実績</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>392,184千円</td> <td>決算額</td> <td>390,780千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>執行率 (%)</td> <td>76.0%</td> </tr> <tr> <td>執行率 (%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	予算執行	29年度当初		29年度実績		予算額	392,184千円	決算額	390,780千円	決算額		執行率 (%)	76.0%	執行率 (%)																																			
予算執行		29年度当初		29年度実績																																													
		予算額	392,184千円	決算額	390,780千円																																												
		決算額		執行率 (%)	76.0%																																												
	執行率 (%)																																																
主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																																	

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	大沢二丁目古民家（仮称）の整備と三鷹型エコミュージアムの推進	個別事業掲載No	ス - 7
-----	--------------------------------	----------	-------

当初計画	【事業概要】 大沢二丁目古民家（仮称）については、大沢の里公園内の中核的な文化財の1つとして平成30年度の公開を目指し、解体工事・調査及び建物の整備工事を完了させる。また、地域団体や文化財保護審議会との協議、市民ボランティアの人財確保に向けた講座の開催、事業内容、管理運営計画の検討を行う。また三鷹型エコミュージアム事業の推進については、市民との協働により郷土の文化財に関する基礎調査・研究を行う仕組みのあり方を検討するとともに、三鷹の歴史・文化等の魅力を伝え、市民のアイデンティティを醸成する冊子を刊行する。冊子は生涯学習センター等で取材や編集に関する人財養成講座を受講した市民と協働して作成することとし、公共施設等で配布するなど、その活用を図る。 【事業量】 ・解体工事・解体調査・建物整備工事の実施 ・地域団体及び文化財保護審議会との協議、ボランティア人財確保に向けた講座等の実施、管理運営計画の検討 ・文化財の基礎調査・研究のしくみの検討、三鷹の歴史・文化財等の魅力を伝える冊子の刊行	
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	スケジュール	解体工事・解体調査 → 整備工事 → 地域団体及び文化財保護審議会との協議、ボランティアの人材確保に向けた講座、事業内容・管理運営計画の検討 → 文化財の基礎調査・研究、エコミュージアム冊子の検討・編集・刊行 →
	事業の成果（目標）	・解体工事・解体調査・建物整備工事の着実な実施 ・平成30年度の公開に向けた地域団体及び文化財保護審議会との協議 ・管理運営計画の検討やボランティアの人財確保に向けた講座等の実施 ・文化財の基礎調査・研究を推進し、市民参加によるエコミュージアム冊子の刊行

中間評価	上半期の実績・課題等	【実績】解体工事、解体調査を完了。文化財保護審議会との協議を行いながら、整備工事に着手した。またボランティアの人財確保に向けた各種講座を実施中。エコミュージアム冊子作成のための郷土史レポーターの養成、井の頭100祭記念イベント周知化のための三鷹の森フェスティバルへの参加。エコミュージアム交流会の開催による市民団体等との連携の推進。 【課題】平成29年度末の古民家整備工事完了に向けて、着実に工事を行う。冊子の編集と刊行。
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等 重点事業とする。 古民家については、水車経営農家との一体的な運営となるよう調整を図ること。
	主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績	・解体工事、解体調査、整備工事を完了し、見学会を実施した。 ・地域団体及び文化財保護審議会と協議し、ボランティア人財確保に向けた講座等を実施し、管理運営計画を検討した。 ・文化財の基礎調査・研究のしくみを検討し、三鷹エコミュージアム研究『みいむ』創刊準備号を刊行した。
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 解体工事・解体調査(H28.12月～H29.5) → 整備工事(H29.5月～H30.3) → 地域団体及び文化財保護審議会への協議、事業内容、管理運営計画の検討 → 三鷹エコミュージアム研究『みいむ』の刊行○
	事業の成果（実績）	・解体工事・解体調査・建物整備工事を完了した。 ・平成30年度の古民家の公開に向け、地域団体及び文化財保護審議会との協議を行った。 ・古民家魅せ方講座、日本茶講座などボランティアの人財確保に向けた講座等を実施し、管理運営計画を検討した。 ・三鷹の民謡研究、古文書調査など、文化財の基礎調査・研究を推進し、市民参加によるエコミュージアム冊子『みいむ』創刊準備号を刊行した。
	事業の総括（主管課）	文化財保護審議会、地域団体との協議を行いながら、今後体験学習施設として利活用が可能となるよう、整備工事を完了した。また一般公開に向けた講座等を実施し、市民レポーターによる整備工事レポートを作成した。市民参加による冊子の刊行や各種文化財講座講演会を実施するなど、三鷹型エコミュージアム事業の推進を図ることができ、本年度の課題は予定どおり達成できた。
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行 29年度当初 29年度実績 予算額 116,140千円 118,620千円 決算額 118,338千円 執行率(%) 99.8%
	主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		山本有三記念館及び文化施設に係る付帯設備等の計画的な保全										個別事業掲載No		ス — 8							
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>山本有三記念館について、来館者の安全を確保するとともに市の重要な指定有形文化財として末永く保存活用を図っていくため、平成26年度及び平成27年度に実施した基礎調査、平成28年度に実施した詳細調査及び実施設計を基に、改修工事を実施する。</p> <p>芸術文化センター、美術ギャラリー、みたか井心亭等の空調や照明等の付帯設備について、管理上必要な工事を平成29年度から31年度の3箇年にかけて適切かつ計画的に実施し、安定的な運営を確保することにより、市民の芸術文化活動の更なる推進を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山本有三記念館改修工事の実施 芸術文化センター中ホールの調光操作卓等、美術ギャラリー空調施設の更新工事、みたか井心亭空調設備改修工事に向けた設計の実施 																			
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	山本有三記念館改修工事（6月1日～3月16日） →		芸文センター中ホール調光操作卓等更新工事（12月4日～12月18日） →		美術ギャラリー空調設備更新工事（3月6日～18日） →		みたか井心亭空調設備改修工事に係る設計（7月1日～11月30日） →	
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 山本有三記念館改修工事の完了 芸術文化センター中ホールの調光操作卓等、美術ギャラリー空調施設の更新工事、及びみたか井心亭空調設備改修工事に係る設計の完了 																			
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>山本有三記念館の改修工事については、7月26日付けで契約を締結し工事に着手した。今後、年度内のリニューアルオープンを目指し事業を進めていく。</p> <p>芸術文化センター中ホールの調光操作卓等の更新工事については8月9日付けで契約を締結、みたか井心亭空調設備改修工事に係る設計については7月11日付けで契約を締結した。</p> <p>今後は、美術ギャラリーの空調設備に係る更新工事を実施するとともに、業者・三鷹市・スポーツと文化財団が密に連携を図りながら事業を進めていく。</p>																			
	事業評価審査会特記意見											政策会議評価・意見等		推進事業とする。							
	主管課評価	1	事業評価審査会評価 1										1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 山本有三記念館改修工事の実施 芸術文化センター中ホールの調光操作卓等、美術ギャラリー空調施設の更新工事、みたか井心亭空調設備改修工事に向けた設計の実施 																			
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	山本有三記念館改修工事（7月27日～3月16日） →		芸術文化センター中ホール調光操作卓等更新工事（12月4日～12月18日） →		美術ギャラリー空調設備更新工事（3月3日～16日） →		みたか井心亭空調設備改修工事に係る設計（7月12日～12月28日） →	
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 山本有三記念館改修工事 3月16日竣工、3月31日リニューアルオープン 芸術文化センター中ホール調光操作卓等更新工事 12月28日竣工 美術ギャラリー空調設備更新工事 3月16日竣工 みたか井心亭空調設備改修工事に係る設計 12月28日完了 																			
	事業の総括（主管課）	<p>山本有三記念館改修工事については、7月27日より工事に着手し、3月31日にリニューアルオープンを迎えた。</p> <p>芸術文化センターの照明及び美術ギャラリーの空調設備に係る工事、みたか井心亭の空調設備改修工事に係る設計についても計画どおり適切に完了した。今後もこれらの文化施設について、適切かつ計画的な管理及び改修工事を進め、来館者の安全と施設の保存活用を図っていく。</p>																			
	事業評価審査会評価・意見等											予算執行		29年度当初		29年度実績					
											予算額		109,979千円		106,442千円						
											決算額				103,486千円						
											執行率(%)				97.2%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価 1										S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		太宰治没後70年の特別展示に向けた取り組み											個別事業 掲載No	ス — 9			
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>平成30年が太宰治没後70年にあたることから、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働により、特別展示に向けた準備を行う。</p> <p>平成29年度は、青森県近代文学館、斜陽館（青森県）、日本現代詩歌文学館（岩手県）、佐賀大学美術館等において太宰治没後70年の特別展示に向けた資料調査等を行う。なお、調査にあたっては、「三鷹市立太宰治文学館（仮称）」及び「三鷹市立吉村昭書斎（仮称）」にも生かせる視点を持って調査にあたる。</p> <p>【事業量】</p> <p>資料調査等の実施</p>															
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	事業の成果（目標）	資料調査等の完了															
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働により、7月18日～19日に青森県近代文学館、斜陽館等への資料調査等を実施し、8月2日～3日に福岡市文学館、佐賀大学美術館等への資料調査等を実施した。</p> <p>なお、当該調査にあたっては「井の頭文学施設（仮称）」（「太宰治記念文学館（仮称）」）及び「吉村昭書斎（仮称）」にも生かせる視点を持って調査にあたった。</p> <p>今後は、引き続き公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働により、日本現代詩歌文学館（岩手県）等への資料調査等を実施する。</p>															
	事業評価審査会特記意見													政策会議 評価・意見等			
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする											
事後評価	実績	太宰治没後70年の特別展示に向け、資料調査等を実施した。															
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 青森県近代文学館、斜陽館等への資料調査 7月18日～19日 福岡市文学館、佐賀大学美術館等への資料調査 8月2日～3日 日本現代詩歌文学館への資料調査 9月27日及び1月31日～2月1日 佐賀大学美術館への資料調査 2月21日～22日 弘前市立郷土文学館、青森県近代文学館への資料調査 3月20日～22日 															
	事業の総括（主管課）	<p>公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働で、各地の文学館等の調査を実施し、資料調査を完了した。また、太宰治没後70年の特別展示の開催に向けて、太宰治の自宅の模型作成やポスター等の作成に取り組んだ。</p> <p>なお、特別展示に向けては、実施時期の変更（平成30年9月→平成30年6月）に伴い、次年度以降から開始する予定であった具体的な取り組みを本年度より前倒して開始したところである。</p>															
	事業評価審査会評価・意見等														予算執行	29年度当初	29年度実績
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										予算額	347千円	3,312千円
														決算額		3,035千円	
														執行率（%）		91.6%	